

2026（令和8）年度
総合型選抜(10月2期)
帰国子女・外国人入学試験

地球市民学部

授業レポート

11時30分～12時30分

受験についての注意

試験開始の前に、以下の注意をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. この冊子の問題本文は**2**ページである。試験開始後、問題を確認し、落丁・乱丁の箇所があるときは手をあげて交換を求めること。
3. 解答用紙はすべて**HBの黒鉛筆**または**シャープペンシル**で記入すること。
4. 試験開始の前に、解答用紙の定められた位置に氏名と受験番号を記入すること。
5. 解答は解答用紙の指定された場所に記入すること。余白、裏面には何も書いてはならない。別に下書き用の用紙を配付するが、使用については自由である。
6. 筆記用具、受験票以外のものは、かばん等に入れ、机の下に置くこと。
7. 試験時間中に無断で退場することはできない。
8. 終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置き、解答用紙は表を上にして置くこと。この冊子（試験問題）および下書き用紙は持ち帰ってよい。

[解答に際しての注意事項]

※解答内で、コンセプトを使用する際には、#（ハッシュタグ）をコンセプト名の頭につけ、その単語を一般的な名詞ではなく「コンセプト」として使用していることがわかるように記述すること。

I ゼミ形式の授業で取り扱った、#聴衆、#行動規範、#リーダーシップについて、以下の設問に答えなさい。[60点]

【問1】

コンセプトの概要をそれぞれ説明しなさい。

【問2】

コンセプトが使われている事例をそれぞれ説明しなさい。

II 以下の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。[40点]

1982年、アメリカ・イリノイ州シカゴ周辺で、解熱鎮痛薬「エクストラ・ストレングス・タイレノール（以下、タイレノール）」を服用した人びとが相次いで死亡しました。市販のタイレノールのカプセルに毒物が混入していたことが判明しました。犠牲者は7名にのぼりました。アメリカでは当時、タイレノールは広く使われており、事件は市民社会を不安におとしいれました。

製造販売元のジョンソン・エンド・ジョンソン社は、事件の発生後すぐに全米で約3,100万本のタイレノールを自主回収しました。この時点では、毒物がどのように混入したのか、わかっていませんでした。しかし、ジョンソン・エンド・ジョンソン社は、巨額の費用がかかるタイレノールの自主回収という行動をとりました。また、広告や記者会見を通じて、消費者に回収と注意を呼びかけました。回収によって1億ドルを超える損失を出しました。（その後、毒物は、外部の第三者が混入させたことがわかりました。）

なぜ、ジョンソン・エンド・ジョンソン社が、巨額の費用がかかるタイレノールの回収という行動を速やかにとることができたのでしょうか。それは、「消費者の命を守る」という行動の基準があらかじめ決められていて、社員の間に浸透していたからだと言われています。

【参考資料・参考文献】

清宮徹（2019）『組織のディスコースとコミュニケーションー組織と経営の新しいアジェンダを求めて』同文館出版。

トヨタ防災タイムズ編集部（2015年10月9日公開）「ビジネス史上最も優れた危機対応を実現。ジョンソン・エンド・ジョンソン『タイレノール事件』」<https://bosai-times.anpikakunin.com/tylenol-crisis/>

【問】

なぜ、ジョンソン・エンド・ジョンソン社は、巨額の費用がかかるタイレノールの回収という行動を速やかにとることができたのでしょうか。その理由を説明するのに、**あなたが最も適切だと考えたコンセプト**を、#聴衆、#行動規範、#リーダーシップの中から1つ選び、**そのコンセプトが最も適切だと考えた理由**を説明しなさい。